



JCMシステムズの各台計数システム「V-REX NOAH」を導入したパチンココーナーは、玉箱がなくなり通路は広々



計数箱には玉こぼれを防ぐ低反発ゴムを採用



操作性を高めるため、持ち玉払出ボタンやテンキーは大きく設計



パチンココーナーにもイクリアシステムの「V-REX MEDAL」を導入



スタッフが玉箱運びから解放されたことで、ファンとの交流も増えた



メダル自動補給回収システム「SR-7000」は、島端にあるモニターでメダル保有量が一目で分かる



景品カウンターにもJCMシステムズの景品管理POSと据置景品払出機が活躍

## HALL REPORT

アムズガーデン石巻湊店(宮城県石巻市)

# スタッフを玉箱運びから解放 元気と丁寧な接客で支持獲得

宮城県石巻市にアムズグループ(本社/沖縄県、清水明義社長)が12店舗目(宮城県内では7店舗目)となる『アムズガーデン石巻湊店』を11月23日にオープンした。パチンココーナーにはJCMシステムズの各台計数システムを導入。スタッフの元気と丁寧な接客で、ファンの支持を集めている。

### 被災地のホール跡地に 敢えて居抜きで出店

宮城県石巻市の湊地区は海から近く、東日本大震災では津波によって深刻な被害を受けた場所。この地で営業していたホールも例外ではなかった。沖縄県や福島県のほか、宮城県でホールを経営するアムズグループは、津波の被害を受けたホールの跡地に居抜きで出店。震災から8カ月後が経った11月23日に『アムズガーデン石巻湊店』(パチン

コ280台、パチスロ156台)をオープンした。9月下旬に被災したホールを視察した同店の島山一寛店長は、愕然としたという。「店舗の周辺を視察しても、人が住んでいる気配がない。オープンして本当にお客様が足を運んでくれるのか不安だった」

現状を報告すると、清水社長からこんな答えが返ってきた。「被災地に灯りをともせ」と。ショッピングセンターや家電量販店が集まる中心街と異なり、同店のある湊地区は住宅街で、浸水した住宅の多くが空き屋になっている。夜になるとほとんど光がなく、車のヘッドライトが異様に目立つ有り様だ。

ホールの出店が決まった後、島山店長が近所で営業する喫茶店を訪れると、マスターに出店を感謝された。ホールが営業することで、夜になっても光が見えるし、不安が減るからだという。オープン当日を迎えると、湊地区に娯楽施設がほとんどなかったこともあり、島山店長の予想を上回る客足だった。

被災によって沈んだ雰囲気を払拭し、遊技している間は少しでも震災の苦しみや忘れてもらおうと、島山店長はスタッフの元気を前面に打ち出している。店内の装飾類は全てスタッフの手作りにし、競合店の演出と差別化を図っている。スタッフのプロフィールも掲示することで、ファンとの会話のきっかけ作りにも努めている。こうした取り組みも、ファンに支持される要因だろう。

玉箱運びがなくなったスタッフは、接客と清掃に集中できるようになった。400台規模のホールで各台計数システムが導入されれば、昼番夜番合わせて16人で運営することが可能だ。しかし、同店では22人で運営し、一人のファンに対する接客の時間を増やし、丁寧に対応している。

「アムズガーデン石巻湊店」では、パチンココーナーにJCMシステムズの各台計数機「V-REX NOAH」を導入した。イクリアの電子認証によるセキュリティ技術によって、売上金額や払出回数などを照合して管理センターにデータを蓄積するシステム。ランニングコストは105円と安価で、払出ボタンやテンキーのサイズを大きく設計するなど、使いやすさを追求している。

パチスロコーナーでは、JCMシステムズのメダル自動補給回収装置「SR-7000」が活躍している。水を使わない乾式研磨システムを採用し、新たに騒音防止機能も搭載。パネルの密閉化と特殊吸音スポンジを貼り付けるダブル対策で、従来のメダル自動補給回収装置に比べて、騒音の約20%ダウンに成功した。

### 最新設備と接客で 居心地のいい空間を

脱可能なため、簡単に玉積みあり、なしの営業スタイルに変更可能。持ち玉分割機能も搭載しているので、家族やカップルでも出玉を共有することができる。島山店長は、「V-REX NOAH」を導入したことで、ファンの利便性が確実にアップしているという。

景品管理POSの「LX-777」は、JCMシステムズの製品を採用している。景品管理POSの「LX-777」は、12.1インチの大型液晶タッチパネルと32個の商品キーを兼ね備えている。また、据置景品払出機「JXR-1000」は、コンパクト設計なのに景品を最大3570枚収納可能。払出速度は約3秒で、4金種類の景品に対応する。

「玉箱がなくなると、カード1枚で移動

島山店長は「最新の設備とともに、お客様一人ひとりに丁寧に対応することで、居心地のいいホールを作り上げた」と意気込む。